

海の貴婦人 帆船海王丸

世界の人々から「海の貴婦人」と賞賛される帆船海王丸。富山県にある海王丸パークでは、この帆船海王丸を現役当時の姿で公開。年10回行われる総帆展帆は見逃せません。



帆船海王丸と「恋人の聖地」モニュメント



帆船海王丸と新湊大橋（夜景）

伏木富山港の海王丸パークに浮かぶ帆船海王丸は、商船学校の生徒に訓練を行う航海訓練所の大型練習帆船として、1930年（昭和5）姉妹船「帆船日本丸」とともに、神戸の川崎造船所で建造されました。地球約50周（106万海里）を航海し、延べ11,000名あまりの海の若人を育てました。また、1960年（昭和35）の日米修好通商百年祭をはじめ、カナダ建国百年祭に参加するなど、主に太平洋各地の港に寄港し、国際親善に寄与し、友好の輪を広げてきました。

1989年（平成元年）、海王丸（二世）の竣工に伴い、59年間に及ぶ練習船としての使命を終え、同年9月に帆船海王丸記念財団（現 伏木富山港・海王丸財団）へ移管され、翌年4月から一般公開を開始し、青少年錬成の場として海洋教室も実施しており、これまで約3万人が参加しました。

今年が帆船海王丸の一般公開25周年に当たることから、8月に海王丸（二世）と大成丸を招聘し、2隻の帆船によるW展帆と3隻の一般公開を行います。また、10月には富山県において「第35回全国豊かな海づくり大会」が開催され、海王丸パークで放流行事が行われることから、総帆展帆で歓迎することになっています。



前部航海船橋



舵輪



主機



第1教室



実習生居室